



E-Guardian
We Guard All

2025年9月期 決算説明資料

イー・ガーディアン株式会社(6050)
2025年11月

1.エグゼクティブサマリー

2.2025年通期業績

3.2026年通期取組

4.Appendix

2025年 通期業績

売上高 11,321百万円 前期比 99.4%
営業利益 1,504百万円 前期比 88.2%

2026年 通期取組

- 経営体制、営業体制の刷新による売上増
- 収益性向上
- AI開発投資

株主還元

- 配当予想は38円
株主還元の重要性を鑑み、決定
株主優待をデジタルギフトに変更

2025年 通期業績

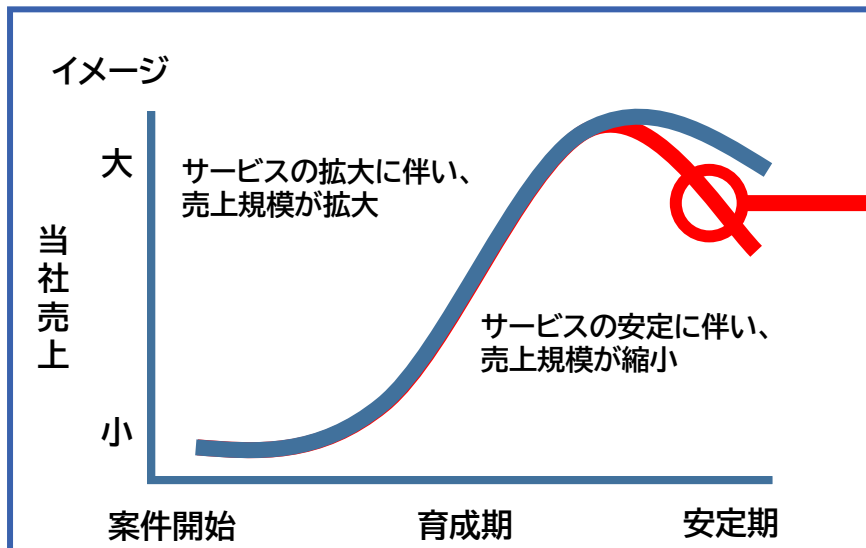
(2024年10月～2025年9月)

売上高

- ① ソーシャルサポートの大型案件の減収幅が想定を上回る
- ② 家庭用ゲーム向けカスタマーサポートの大型案件の売上高が想定を下回る

営業利益

- ③ 売上減少と労務費調整との時間的なズレ



①→安定期に入った大型案件の
売上縮小幅が想定を上回った

※当社サービスは案件開始時は売上が小規模だが、
取り扱い件数の拡大と当社サービスへの評価に伴い、
規模が拡大し、オペレーションの安定と共に徐々に
減少する

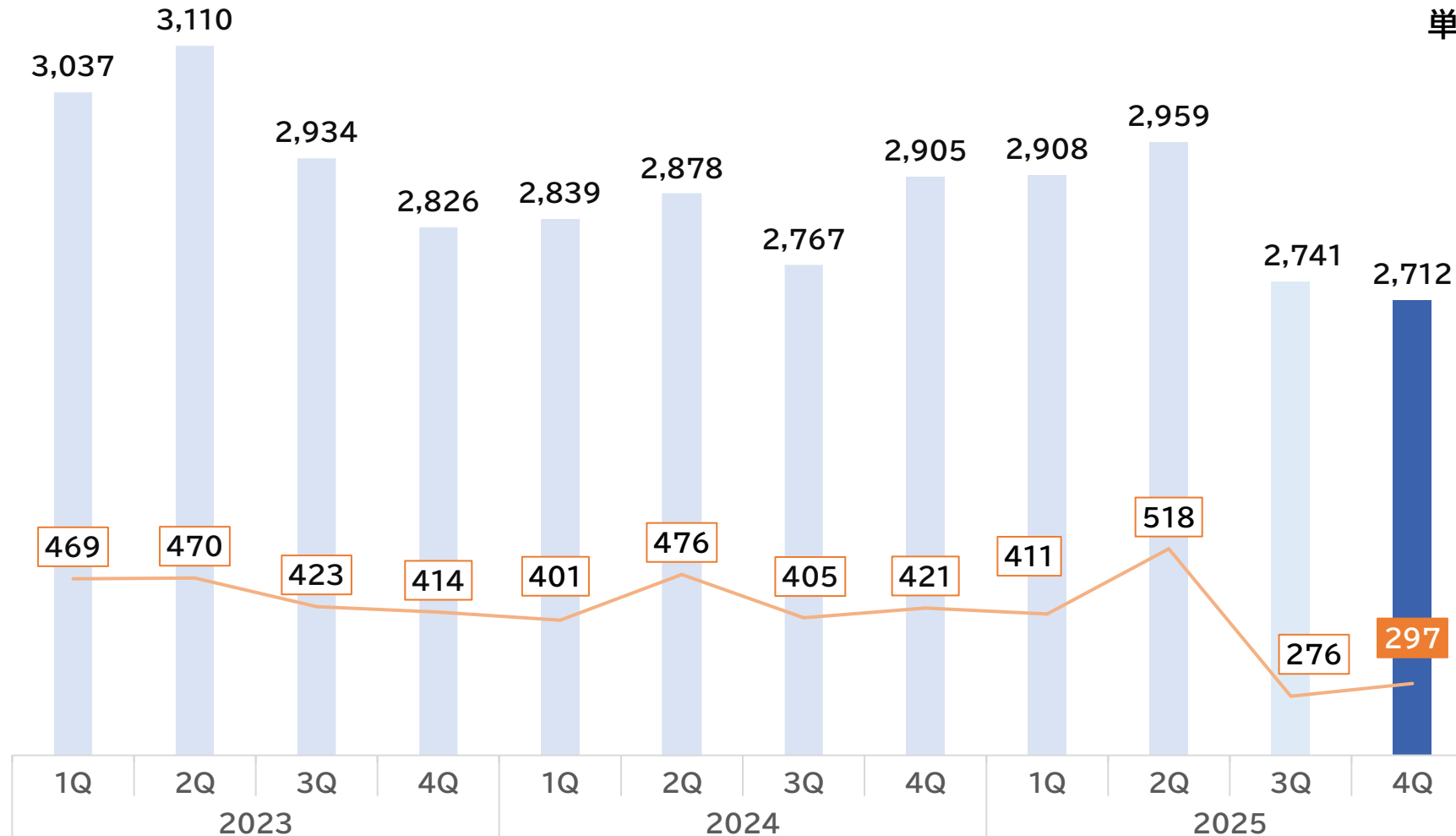
単位:百万円	実績	前年同期 実績	前年同期比
売上高	11,321	11,391	99.4%
営業利益	1,504	1,705	88.2%
経常利益	1,530	1,708	89.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	943	1,057	89.2%

売上減少に伴う労務費調整と

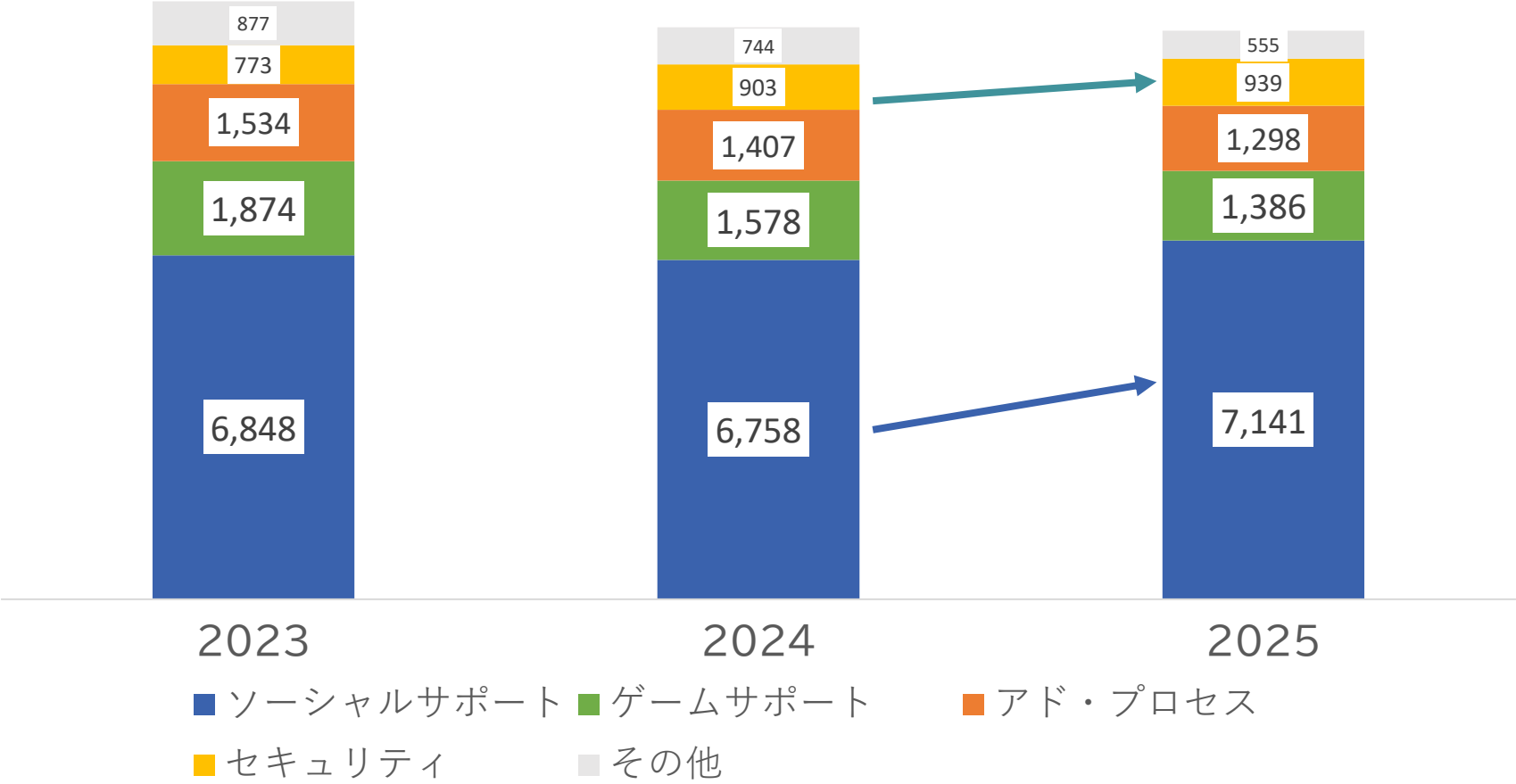
大型案件開始に向けた人材獲得、育成コストの発生により、利益が悪化

■売上高
■営業利益

単位:百万円

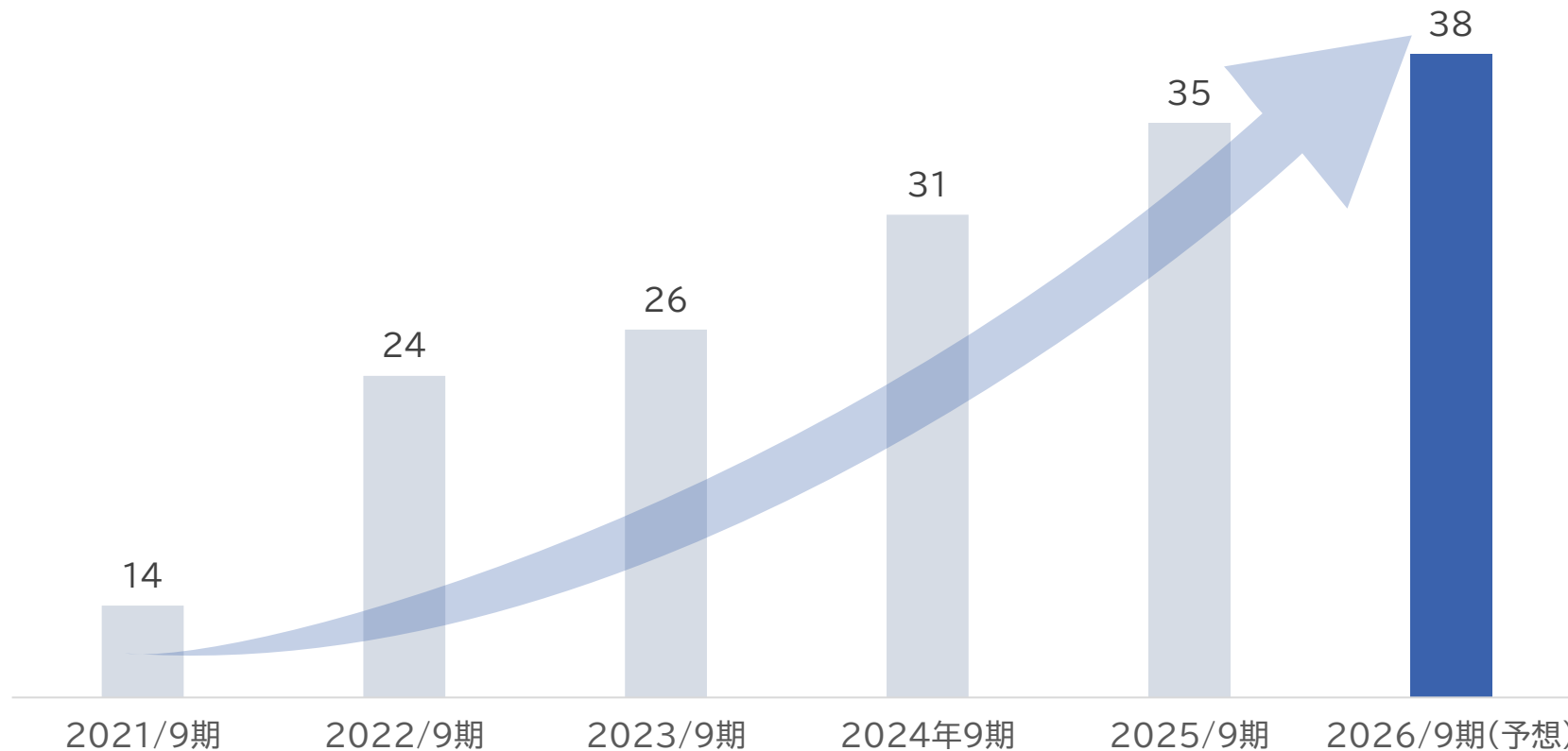


ゲームサポート、その他は大きく減収
主要事業であるソーシャルサポートとサイバーセキュリティは過去最高売上高を更新
サイバーセキュリティはコンサルサービスとクラウド型WAFが伸長



配当方針は据え置きにしつつ、 株主還元の重要性を考慮し、増配予想

1株当たり配当額(単位:円)



株主の皆さまの利便性向上を目的に 株主優待をQUOカードからデジタルギフト®へ変更

・株主優待の変更内容(下線が変更箇所)

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上	5,000円相当のデジタルギフト®	8,000円相当のデジタルギフト®

・対象となる交換先(7/10発表時点、変更となる可能性もございます。)

Amazon ギフトカード / QUO カード Pay / PayPay マネーライト / d ポイント
/ au PAYギフトカード / Visa e ギフト vanilla / 図書カード NEXT
/ Uber Taxi ギフトカード / Uber Eats ギフトカード / Google Play ギフトコード
/ PlayStation®Store チケット / すかいらーくご優待券

2026年 通期取組

(2025年10月～2026年9月)

今期達成すべきこと

売上高の再成長、収益性の改善

①

業務執行体制、営業体制の刷新

②

BPO領域、サイバーセキュリティ領域 新戦略実施

③

労働集約型ビジネスの脱却に向けたAI開発投資

④

事業規模拡大に向けたM&A

市場変化に迅速に対応し、成長を加速させるための体制変更

テスト事業
(EGテストングサービス)

 **EG Testing Services**

担当:堤 雄太郎
EGテストングサービス代表取締役

課題と取組

主要取引先への売上依存

- ・組織再編による業務効率の向上
- ・**AI活用**、EGSSとの連携強化による新規顧客の拡大

サイバーセキュリティ事業
(EGセキュアソリューションズ)

 **EG Secure Solutions**

担当:高畑 哲平
EGセキュアソリューションズ代表取締役

課題と取組

市場変動に伴う成長鈍化

- ・**AI投資**による競争優位性の強化
- ・教育サービスの拡大
- ・EGTSとの連携強化による新規顧客拡大

チェンジホールディングスグループ
アライアンス推進


E-Guardian




CHANGE
HOLDINGS

担当:野田 知寛
執行役員(アライアンス推進担当)

課題と取組

グループ内シナジーの進捗遅延

- ・情報連携の迅速化
- ・官公庁、自治体案件における連携強化
- ・共同提案における意思決定の迅速化



既存BPO領域の拡張

新規BPO領域への進出

AI開発投資の推進



当期は3領域に注力しつつ、新たな領域・サービスを模索

収益性改善を目的としたAI開発投資は引き続き推進

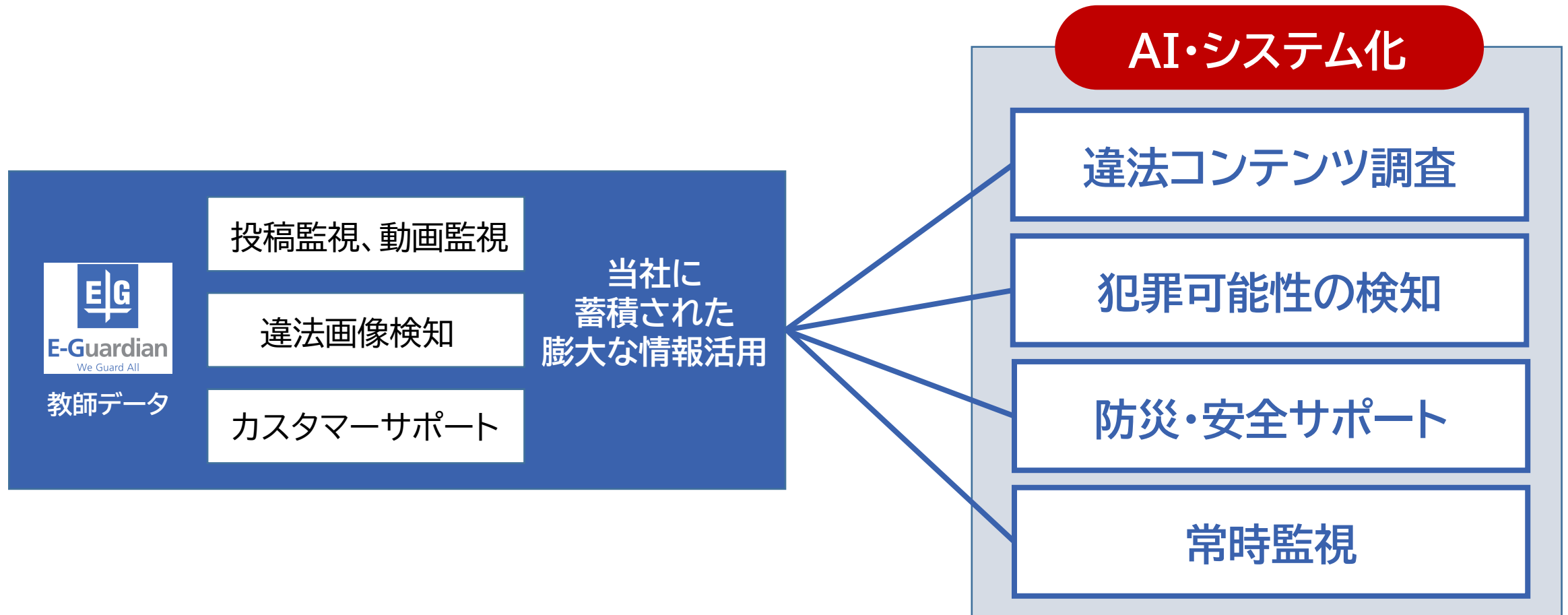
AIエージェント型カスタマーサポートツールの進捗について

今期、開発完了予定



日報などのレポート作成なども全て自動化、サポート業務全体の効率性が大幅に改善
企業のブランドイメージに合わせた個別チューニングも可能

当社が蓄積した膨大な教師データを活用



セキュリティ教育をドアノックツールとして事業拡大
当社主要サービスとのクロスセルに注力
クロスセル先の新事業創出も積極的に検討・実施

注力ポイント



教育コンテンツを拡充
売上規模拡大に注力

ドアノックツールとして
事業創出



脆弱性診断

WAF

コンサルティング

新事業創出

従業員向け セキュリティリテラシー研修

サイリーグHDと連携し、販売促進を実行

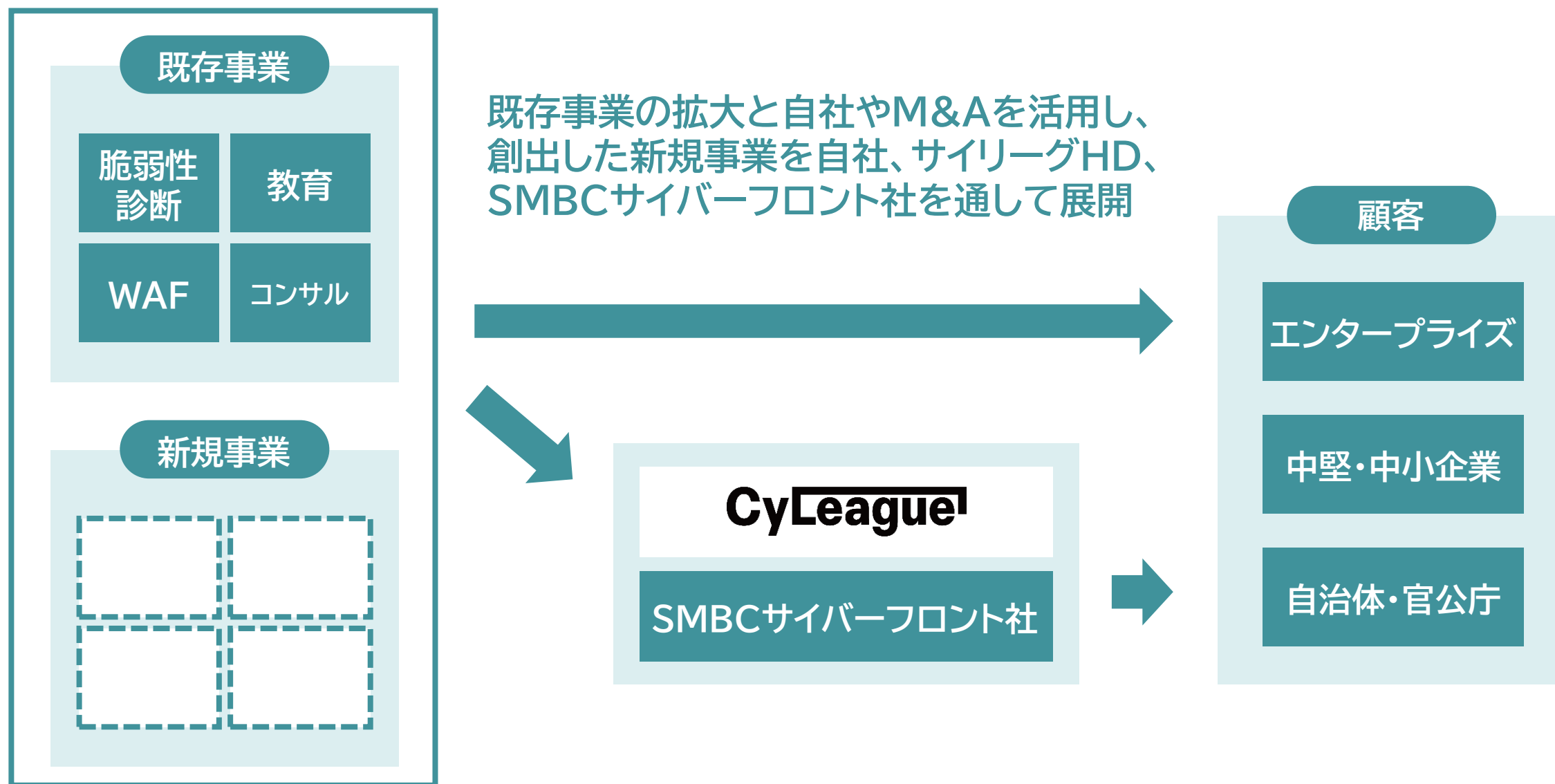
 **EG Secure Solutions**



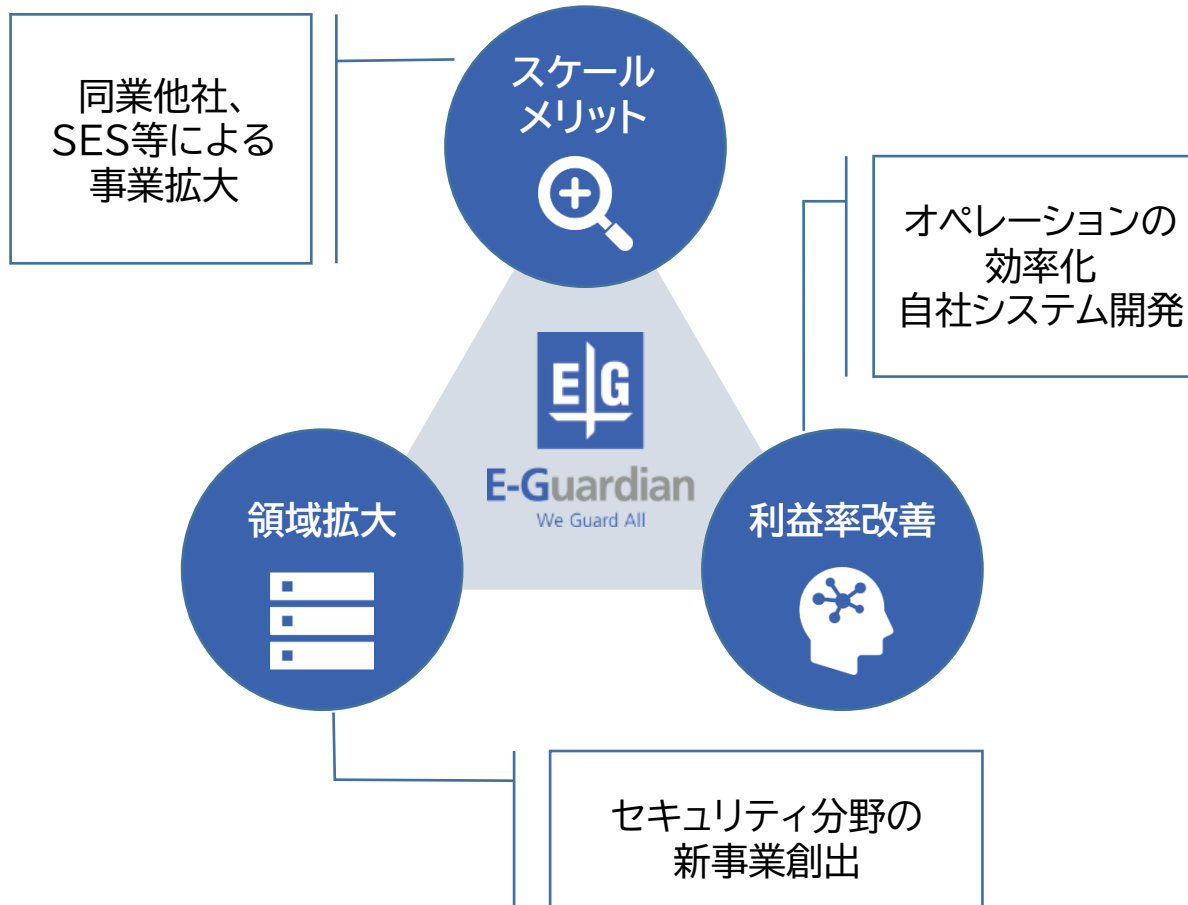
CyLeague

- ①ドラマ仕立ての動画
 - ②座学(eラーニング等)
 - ③テスト
- の構成でより高い学習効果を発揮

形式的な研修から「機能する」研修へ



戦略

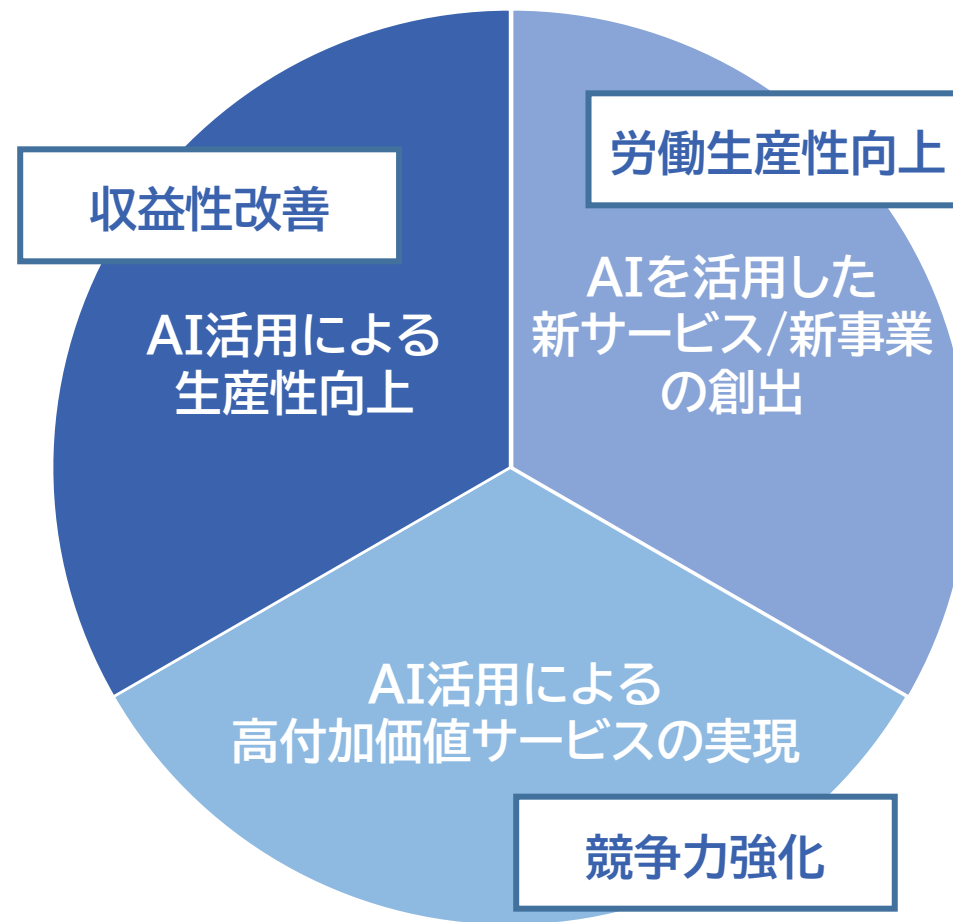


目的

BPO領域 	事業規模の拡大 当社サービス範囲の拡張
セキュリティ 	セキュリティエンジニアの確保 新サービス領域への進出
テスト領域 	テストエンジニアの確保 新事業の創出
AI・システム 	自社システム開発拡大 (オペレーション効率化) (当社教師データの有効活用)

各領域間のシナジーを発揮
領域間のキャリアチェーンも積極的に推進

未解決の社会課題を解決するAI活用サービスを創出 労働集約型ビジネスからの脱却へ



Appendix

We Guard All

すべてのインターネット利用者に、安心・安全を提供します

インターネットの安心・安全を守る 総合ネットセキュリティ企業

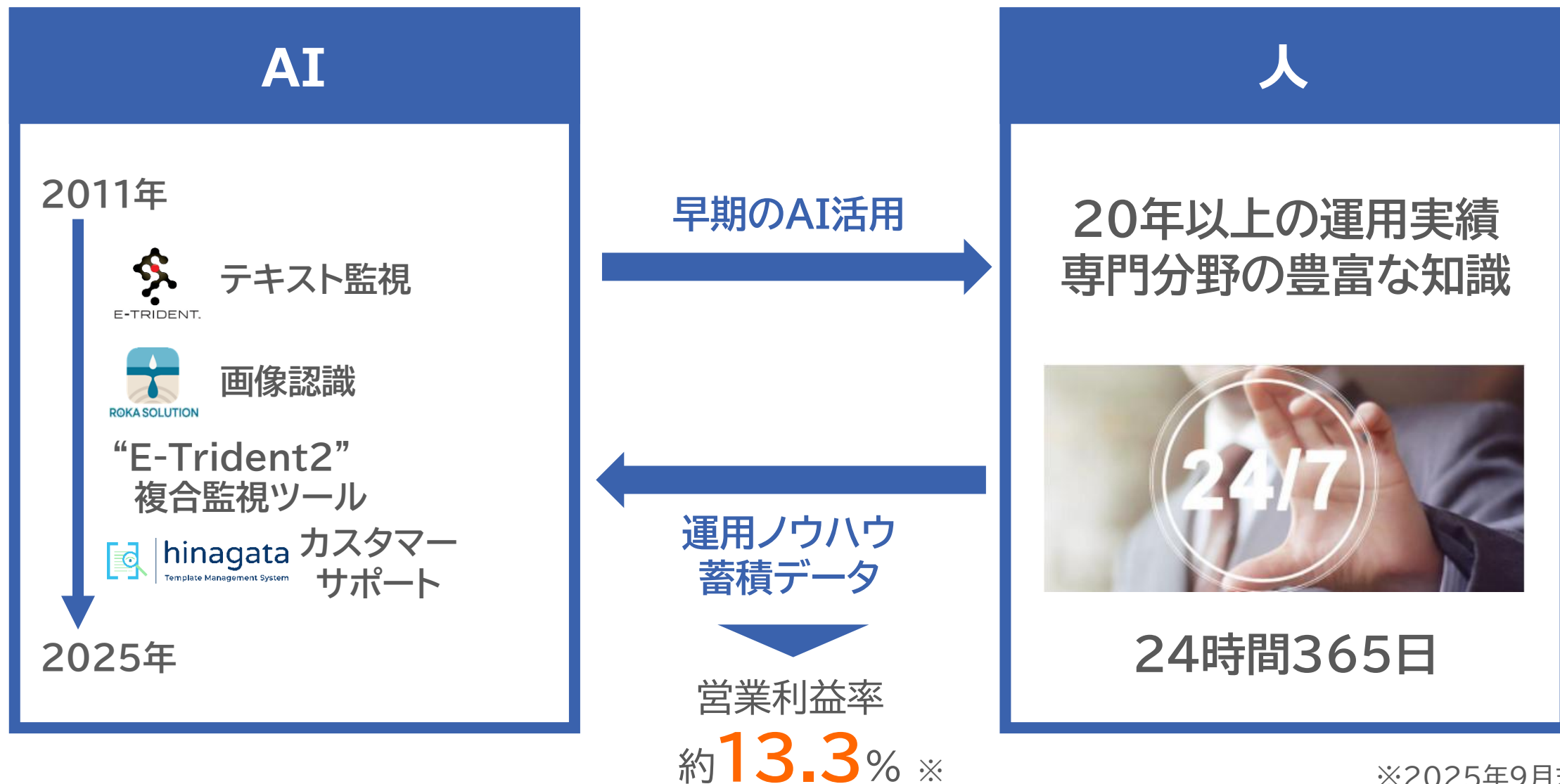
会 社 名	イー・ガーディアン株式会社
上場証券取引所	東証プライム(6050)
本 店 所 在 地	東京都港区虎ノ門1-2-8琴平タワー8F
設 立	1998年5月
代 表 者	代表取締役社長 高谷 康久
資 本 金	1,967百万円
従業員数(連結)	2,260名(うち臨時従業員数1,833名)
子 会 社	国内 3社 海外 2社

2025年9月末時点

ソーシャルサポート等は主にSNSの投稿監視やカスタマーサポートを提供
サイバーセキュリティは主に脆弱性診断やWAFの開発販売を行う

ソーシャルサポート ゲームサポート		アドプロセス		サイバー セキュリティ	その他
SNS・動画投稿監視				脆弱性診断	
カスタマーサポート		広告審査		WAF	ハード・ソフト デバッグ
多言語サポート		バックオフィス業務		SOC	
風評調査				コンサルティング	

早期に導入したAIと人の融合で高品質・高効率なサービスを提供



インターネットリスクは増大かつ多様化し セキュリティニーズは高まっている





Environment

- グリーン購入法による備品等の購入を推進



Social

- 女性管理職比率30.8%※1(全国割合:部長相当職 7.9%※2)
- 希望受講者の社外研修 約5.5回/年(2024年実績 約5.4回)

2025年9月末実績

※1 当社の管理職は管理監督者 ※2 出典:厚生労働省「令和5年度雇用均等基本調査」(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r05/02.pdf>)



Governance

- 取締役会における社外取締役7名中3名
- 任意の指名・報酬委員会、特別委員会を設置

- この資料には、当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。
- 従いまして、実際の業績などは、今後、様々な要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

- お問い合わせ先:イー・ガーディアン株式会社 総務部

info@e-guardian.co.jp

TEL 03-6205-8859